

科目名	ホテル概論						
科目名(英)	Introduction to Hotel basic						
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	柳原先生		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテルスタッフ		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	ホテル業を目指す上で欠かせないホテル業の基本を学ぶ。ホテル業の魅力は何なのか、お客様にとって良いホテルとは何なのか、また良いサービスとは何なのかをハード面とソフト面の両方で考える。また、インターンシップに向けて日本を代表するホテルの名称とその特徴を学ぶ。あわせて国内系のホテルと外資系のホテルの共通項と違いを学ぶ。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					シティホテルとリゾートホテルの違いを説明できる。	
	○					日本を代表するホテルの名称を正しく理解し、特徴を説明できる。	
	○					国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを説明できる。	
	○					ホテルを構成する部署とその役割を説明できる。	
	○					ホテルの宿泊、料飲、宴会を中心とした各部署の業務内容を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホテルの魅力とは、ホテルの種類について				授業内容の復習をしておくこと	
	2	主要ホテルとその歴史を学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	3	主要ホテルとその歴史を学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	4	日系ホテル(御三家)について学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	5	外資系ホテルについて学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	6	リゾートホテルについて学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	7	ホテルの組織体系について学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	8	ホテルの商品(客室の種類や料金プラン)について学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	9	ホテルの商品(客室の種類や料金プラン)について学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	10	宿泊部門について学ぶ				授業内容の復習をしておくこと	
	11	宿泊部門について学ぶ					
	12	料飲部門について学ぶ					
	13	料飲部門について学ぶ					
	14	15宴会部門について学ぶ					
	16	授業のまとめ					
	評価方法	(1)期末試験 (2)授業内での確認テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
期末試験		◎	○				60%
確認テスト		◎	○				40%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ウエディングセレモニー論A						
科目名(英)	WEDDING CEREMONY						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式や披露宴の基礎知識を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル(婚礼)の定義・成り立ちを知り説明することができる。	
	○	○				ブライダルビジネスの関連業種及びエリア特性を知り説明することができる。	
	○	○				日本国内の結婚式と欧米での結婚式それぞれの特徴を学び説明ができる。	
	○	○				見合い・結納など結婚式を取り巻く関連儀式的理解を深め説明ができる。	
	○	○				挙式の形式と流れを知り新郎新婦の要望に合った提案及び説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	国家資格についての説明・LESSON1婚礼の定義について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	LESSON1婚礼の定義について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	LESSON2ブライダルビジネスについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	LESSON2ブライダルビジネスについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	LESSON3見合い・婚約・結納について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	LESSON3見合い・婚約・結納について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	LESSON3披露宴・海外ウエディングについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	LESSON3披露宴・海外ウエディングについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	前期試験対策(LESSON3までのまとめ)			14コマまでの復習をしておくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎回小テスト(筆記)を実施する。(3)レポート提出(理解度確認)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	レポート提出	◎	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	レストラン実務						
科目名(英)	Restaurant practical operations						
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果をホテル実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				レストランで使用する什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術を、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、ホテルの料飲部門について			授業内容を復習しておくこと		
	2	レストラン部門の組織、業務の流れとオープン・クローズ業務			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	3	シルバーウェアの知識			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	4	チャイナウェアの知識			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	5	グラスウェアの知識			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	6	リネン類の知識、什器備品の取り扱い、シルバー・グラスの磨き方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	7	トレイサービス			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	8	お皿の持ち方、バッシング			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	9	テーブルセッティング			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	10	サーバーの使い方			教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと		
	11	実技テスト練習			実技テストに向けて準備をしておくこと		
	12	実技テスト練習			実技テストに向けて準備をしておくこと		
	13	実技テスト			実技テストに向けて準備をしておくこと		
	14	実技テスト			実技テストに向けて準備をしておくこと		
	15	料飲部門での身だしなみや動作、接客用語、筆記テストについて			筆記テストに向けて準備をしておくこと		
	16	筆記テスト、授業総括			筆記テストに向けて準備をしておくこと		
評価方法	(1)授業内実技テスト(2)授業内筆記テスト(3)受講する上での持参物(実習服や教科書)及び意欲(出席回数)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
				◎			40%
		○	◎				40%
					◎		20%
履修上の注意	実技授業を受講する際は料飲実習服を着用すること。 授業欠課が6回以上になった場合は単位を与えない。						

科目名	ブライダルフラワー I A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2022	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	生花の取り扱い方法を学び、行事に合ったアレンジや、TPOに合わせたアレンジができるようになる。また、アートフィッシュフラワーを使ってヘアコサージュ、ブートニアの作り方を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△					生花の取り扱い方、花に合わせた水揚げの種類と方法を学ぶ。	
	○					上記を学び、実際にTPOに合わせて花材や花器を選ぶことができるようになる。	
	○					学内の指定された場所に合わせたアレンジができる。	
	○					行事の花(母の日)のアレンジができる。ヘアコサージュ、ブートニアが作れる。	
			○			積極的に作業に取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ/BFCA公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス、テキストの説明。ブライダル実習室の使い方、道具の説明。			レストランやホテルなどにどのように花が活けてあるか意識して見る		
	2	場所に合わせたアレンジのやり方 I			活けた花の管理をする		
	3	花の種類による水揚げ方法、花と色の関係を学ぶ。/中間小テスト			復習する		
	4	行事の花(母の日)フラワーアレンジ作成					
	5	場所に合わせたアレンジのやり方 II			活けた花の管理をする		
	6	大きさによるワイヤーのかけ方の違いを知り、ヘアコサージュを作成する。					
	7	ブートニアについてを学び、ブートニア、ポケットチーフの使い方を学ぶ					
	8	アートフィッシュフラワーによるブートニアを作る/まとめテスト			復習しておく		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)作った作品を発表し、評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(2回)	◎	○				40%
	発表・作品		◎				60%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	カラーコーディネート演習A						
科目名(英)	Color coordination exercise A						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	身の回りの色に興味を持ち、パーソナルカラーの特徴を理解する。実習をとおしてアンダートーンの違いや、その人に合う色を見極める力を養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラーの基礎になる色の三属性やCUS表色系を理解することが分類できる。	
	○					肌のしくみ、髪の毛のしくみ、目の構造を説明できる。	
	○					パーソナルカラーの診断において、肌写りや目の輝きなど見極めることができる。	
	○					パーソナルカラーを分類しメイクやファッション、インテリアなどの配色に活かすことができる。	
○					パーソナルカラーのプレゼンテーション力を身につけることができる。		
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	パーソナルカラーとは			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	2	肌・髪・目のしくみ			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	3	パーソナルシーズンの特徴			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	4	パーソナルカラー診断1			課題プリント		
	5	パーソナルカラー診断2			課題プリント		
	6	パーソナルカラー診断3			課題プリント		
	7	パーソナルカラー診断4			課題プリント		
	8	パーソナルカラー診断まとめ			課題プリント		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期テスト	◎	○				60%
	宿題・レポート	○					20%
	発表		○		○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダルメイクA						
科目名(英)	Bridal make A						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	武田 真希		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ヘアメイク・着付け・エステ		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界に必要なメイクアップやヘアメイクに関する知識を学び、その価値を認識するとともに、社会人としての基本的なセルフヘアメイクの習得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				メイクにおける基礎知識を覚える。	
			○			顔のパーツごとに適切なメイクを施すことができる。	
			○			シニヨン、夜会巻き等、ヘアスタイルを綺麗につくることができる。	
			○			メイク・ヘアを時間内にトータルで綺麗に仕上げることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	メイクの基本理論・ベースメイク理論			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	ベースメイク実践・アイブロウ理論、実践			前回のプリントを復習しておくこと		
	3	アイブロウ復習・アイメイク理論、実践			前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと		
	4	アイメイク復習・リップ、チーク理論、実践・ヘア理論			前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと		
	5	ヘア実践(シニヨンの種類と作り方、夜会巻きの作り方)			ヘアで使用する物を準備しておくこと		
	6	ヘア実践(シニヨン、夜会巻き 復習)			各自練習しておくこと		
	7	ヘアとメイクをトータルで仕上げる			各自練習しておくこと		
	8	トータル仕上げ、評価			各自練習しておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		100%
履修上の注意	授業に必要なものの忘れ物が無いように						

科目名	メイク検定対策						
科目名(英)	Make Up License						
単位数	2	時間数	30	担当者	重松先生		
実施年度	2022	実施時期	前期	担当者実務経験	JMA認定講師		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	ブライダル業界に必要なメイクアップに関する基本的な知識を学び、その価値を認識するとともに、日本メイクアップ技術検定試験(セルフメイク検定および日本メイクアップ知識検定試験ベーシック)の取得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					知識検定試験ベーシックの内容を元にスキンケアにおける基礎知識を覚える。	
	○					知識検定試験ベーシックの内容を元にメイクアップにおける基礎知識を覚える。	
		○				自分自身の顔に適切なスキンケア・メイクを施すことができる。	
		○				なりたいイメージを想定し、自分自身の顔にイメージ通りのメイクを施すことができる。	
	○				セルフメイク検定試験の課題メイクを時間内にトータルで綺麗に仕上げることができる。		
テキスト・教材 参考図書	JMAセルフメイクの教科書(※JMAベーシック検定試験内容を含みますので、知識検定ベーシックの教科書は不要)・日本メイクアップ知識検定ベーシック公式問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	メイクの基礎理論・メイクアップツール・顔の成り立ち			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	皮膚の基礎理論・スキンケア理論・スキンケア実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	基本のメイクアップ理論・ベースメイク実践			実技を復習し、各自練習しておくこと		
	4	基本のメイクアップ理論・フルメイク実践			実技を復習し、各自練習しておくこと		
	5	なりたいイメージメイク実践・修正メイク実践1			実技を復習し、各自練習しておくこと		
	6	なりたいイメージメイク実践・修正メイク実践2			実技を復習し、各自練習しておくこと		
	7	知識検定試験ベーシック模擬試験			公式問題集を事前に解いておくこと		
	8	セルフメイク検定模擬試験、トータル仕上げ、評価			実技を復習し、各自練習しておくこと		
	9	セルフメイク検定模擬試験対策①					
	10	セルフメイク検定模擬試験対策②					
	11	セルフメイク検定模擬試験対策③					
	12	メイクアップ知識検定対策①					
	13	メイクアップ知識検定対策②					
	14	メイクアップ知識検定対策③					
15	メイクアップ知識検定対策④						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		◎		70%
	小テスト	○	○		◎		30%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。演習が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	ブライダル産業演習 I A						
科目名(英)	Bridal Industrial exercise I A						
単位数	1	時間数	15	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャブ テン(3年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2回の実習(福岡近郊・全国)と就職活動に向けて、ブライダル業界の企業研究を行い理解を深め、業種などの特徴も知る。実際のブライダル施設を見学し見識を広げ職業理解も深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブライダル業界での職種・職場を理解し説明できる。	
		○				ゼクシィなどの情報誌の見方を知り、自分自身で企業研究ができるようになる。	
	○	○				実習先及び周辺の施設を知る事で実習に生かすことができる。	
		○				ブライダル業界の求める人財を知り説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	2021ブライダルのお仕事 ゼクシィ(福岡・佐賀版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ブライダル業界の職種理解を深める			ブライダルのお仕事「職種」の項を事前に読んでおく		
	2	ゼクシィ活用法(ブライダル業界における職場の種類)			事前にゼクシィを一通り目を通しておく		
	3	見学予定会場調べ(小テスト)			小テストを実施します。(ゼクシィ活用法)		
	4	実習先調べ(施設・企業研究)①福岡市近郊					
	5	実習振り返り・土日インターンについて					
	6	ブライダル業界の求める人財について					
	7	ブライダル業界の求める人財について					
	8	実習先調べ(施設・地域・周辺情報)②全国					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを1回実施する (2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		◎		○		60%
	小テスト	◎	◎				40%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	サービス接遇 I A						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2022	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	サービス接遇検定2級、準1級合格を目指し言葉遣い、ビジネスマナーを学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△	○				商業用語を覚える	
	△	○				経済用語を覚える	
	○	△				サービス接遇検定2級合格	
	○		△			サービス接遇検定2級合格接遇検定準1級合格	
テキスト・教材 参考図書	・早稲田出版 サービス接遇検定2級公式テキスト、サービス接遇検定実問題集1・2級 ・ウィネット 実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	サービス接遇検定2級テキスト 六曜、慣用表現、ことわざP70～71					
	2	サービス接遇検定2級テキスト 六曜、慣用表現、ことわざP72～73					
	3	サービス接遇検定2級テキスト 定期刊行物、印 P74～76					
	4	サービス接遇検定2級テキスト 商業用語 P46～66					
	5	サービス接遇検定2級テキスト 社旗常識、長寿の祝い P68～					
	6	サービス接遇検定2級テキスト 社旗常識、長寿の祝い P68～					
	7	商業用語復習、確認テスト、金品管理					
	8	サービス接遇検定2級過去問題 第47回、第46回					
	9	サービス接遇検定2級過去問題 第45回、第44回					
	10	サービス接遇検定2級過去問題 第43回、第42回					
	11	サービス接遇検定2級過去問題 第41回、第40回					
	12	サービス接遇検定2級過去問題 第39回、第38回					
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)サービス接遇検定2級、準1級合格目指す(3)課題提出						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(2回)	○					40%
	課題提出	○					50%
	検定合格	○					10%
履修上の注意							

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Social study I A						
単位数	1	時間数	15	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	学校のルールを学び、社会人になるにあたってのマナーを身につける。 就職試験のための作文の書き方を学ぶ。 実習についての意義内容を理解し、実習準備をする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				学校のルールを学び説明できる。		
		○			作文の書き方を学び、課題の作文を書く。自己紹介シート作成		
				○	期日までに作文、自己紹介シートを作成する		
テキスト・教材 参考図書	学生便覧						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学生便覧の内容を理解する					
	2	実習についての意義、実習内容、実習スケジュール説明					
	3	実習準備(ブライダル実習)					
	4	自己紹介シート作成・身だしなみチェック					
	5	実習用写真撮影・身だしなみチェック					
	6	実習準備(ブライダル実習)					
	7	実習振り返り(土日インターン説明)					
	8	今後の実習内容・就職活動の流れ説明					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポート(提出物)にて評価 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート(提出物)	○	○		◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位取得不可「D」となる。						

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1	時間数	15	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			自分を取り巻く環境全てに感謝をし、自ら考え、気づき、行動に移すことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう					
	2	「協働」の態度を持った学生生活				振り返りレポートの作成	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～				振り返りレポートの作成	
	4	マナーの本質 I				振り返りレポートの作成	
	5	マナーの本質 II				振り返りレポートの作成	
	6	グローバルシティズンとしての日常				振り返りレポートの作成	
	7	グローバルシティズンとしての目標				振り返りレポートの作成	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて				振り返りレポートの作成	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表	○	○		◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位取得不可「D」となる。						

科目名	ホテル・ブライダル実習						
科目名(英)							
単位数	5	時間数	200	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	全国の結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップ・ホテルで8週間にわたって、ブライダル施設における就業体験を通して、より実践的な知識とスキルを習得する。また各県における業界のエリア特性も学ぶことで就職活動に活かす。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブライダルでの実践的な接客流れを学び、実際にお客様と会話することができる。	
		○				各県毎のエリア特性を知る。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ホテル及びブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	各ホテル・各式場・各ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治における基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明(シラバス)			次回学習部分に目を通しておくこと		
	2	ROUND1:国語(漢字の知識)、英語(動詞の活用変化)、社会(主な国際機関について、時事用語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	3	ROUND2:社会(環境問題、政治、宗教)、国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	4	第1回実力テスト ROUND2:英語(英文書き換え)、国語(敬語表現、文学史)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	5	ROUND3:英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	6	ROUND4:社会(歴史、国際連合について)、国語(文学史)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	7	ROUND4:社会(歴史、地理、時事問題)、計算問題(分数) ROUND5:国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	8	第2回実力テスト ROUND5:社会(世界の発明家について)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)小テスト 以上のものを下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						